

コラム

みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.27

【私についてのお話あれこれ ～人はみな物語を生きている～】

最近みている連続テレビドラマは、「にじいろカルテ」「俺の家の話」「うちの娘は、彼氏が出来ない!!」といったもの。ある時期（特に、みやちゃんの仕事を手伝うようになった頃から）から医療ドラマは必須アイテムになっているため「にじいろカルテ」は注目しています。

「にじいろカルテ」（毎週木曜日夜9時放送）は、都会の大病院から山奥の長閑な村の一軒しかない診療所の医者として働く難病をもった若い女医（高畑充希）の物語。この女医が気のいい村民たちとのふれあいを通して成長していく様が描かれほのほとした感動を与えてくれます。毎回、村民の抱える病気を2名しかいない医者が解決していくという構成になっていて、2/4放送の回ではまだら認知症を抱える若い人妻（安達祐実）の事例を扱っていました。

この女性は数年前に発症し、いつも呆けているわけではなく、時々記憶障害がおり、その度に親しい村の女性2人が面倒をみます。生まれた時からずっと一緒の人たちがそのまま暮らしているコミュニティで、めったによそ者はいってこないため、みんな仲良しで助け合って暮らしている理想郷なのです。「女性の参加する会議は時間がかかる」なんて不適切発言をする男子は一人もいません。都会とちがいこんな所なら認知症になって全く怖くないと思いませんか!?

病気が進行して医者として働けなくなるかもしれない恐怖におびえる女医、子どもが欲しいのにできなくて悔しい思いをしてきた女性、いきなり夫に失踪されたシングルマザー、そしてまだら認知症を抱える人妻。

「大変だけどこんな繋がりがあれば、なんとかなるよね～!」と、女性たちがそれぞれの物語をストレートに話し共感し合うシーンが印象的でした。

人はみな、家族や地域などでこういう繋がりを求めているものですが、どれほどの方々が満足しているか疑問ではあります。

都会の大病院で働いていた女医は「体を治す医療」から、この村にきて「地域住民に寄り添い生活を支える医療」に携わる医療者の道を選びました。女医の物語はどうなるのか……興味ありますよね。

毎週金曜日夜10時放送の「俺の家の話」は、能楽師の家にうまれた跡継ぎ（のはずだった）がプロレスラー（長瀬智也）から転身して、紆余曲折の末に後継者になるお話です。当主（西田敏幸）は人間国宝ですが、認知症を発症していて介護を必要としています。そこで戻ってきた長男が面倒をみることになり、家族やケアマネージャーや介護ヘルパーの女性たちの力をかりながら奮闘する様が描かれています。

この家の抱える問題は、全国1万人の門弟をもつ宗家ですがお金がないことです。土地建物を売却しないと生活が成り立たないにもかかわらず（その上、介護を必要としている！）、当主は自分を慕う（？）美人の介護ヘルパーに全財産を譲ると宣言したから大変。しかも、この女性には結婚詐欺師の疑いがあり、家族は介護と相続をめぐるバトルを展開するというホームドラマです。

子どもたちが成長すれば当然ですが親も年をとります。そしていつまでも親は元気で働けるものではありません。結果、収入が制限されたりなくなっていくので、親のために経済的かつ精神的援助が必要になるのは至極当然。身体上の問題がでてくると介護が必要となります。この家族はどのように家や親をまもっていくのか、今後の物語から目がはなせませんね。

毎週水曜日夜10時放送の「ウチの娘は、彼氏が出来ない！！」は、「恋愛小説の女王」ですが最近陰りがでてきたシングルマザーの母親としっかり者のオタク女子の娘の物語。母娘の友達のような関係性がほほえましく描かれていて好感が持てます。面白いことに、この母親は恋愛小説を量産してきたくせに、現実世界では恋愛下手です。2人はこのさき彼氏ができるのか楽しみ、またヒ・ミ・ツもあるようで続きが気になりますよね……。

長く会社員生活を送っていた友人がコロナ禍で在宅勤務になり、最初の頃は誘惑（テレビや居眠りや私用の電話など）にかかず仕事がかどらないとグチっていましたが、最近はやうやく慣れてきたようです。「こんな生活スタイルがあったなんて・・・もう満員電車でゆられて出社して朝から晩まで忙しく働く生活は嫌だ、ずっと在宅勤務をしたい！」と言っています。

私の場合、会社勤めからフリーランスの在宅ワーカーになって20年以上が経ちます。希望する勤務スタイルを確立するまでそれなりの苦労と努力がありました。基本的に自宅の作業場で仕事をしていますが、受注した仕事の性質上、でかけなければならないことも多くあります（現在はコロナ災禍でほとんどなし）。

あまり生活上の変化はありませんが、ダラダラすごさないように10時頃から17時頃（忙しい時はもっと遅くまで）作業場で仕事をするという風に決めています。

他者の物語に触れ形にする機会は多々ありますが、自分の物語をまとめる機会は日々の雑事におわれできていないので、そろそろ形にしようかなと考えているところです。私についてのお話あれこれを。